

【週刊タバコの正体】

Vol.49 第8話～第11話

2021年06月

和歌山工業高校 奥田恭久

■Vol. 49

(No. 669) 第8話 地方たばこ税

—たばこ税は地元の貴重な財源で暮らしに役だって…

日本では、タバコの税収が国や自治体の会計予算に組込まれている事をすでに紹介しましたね。その金額はどのくらいになるのか興味が湧きませんか。

では下図を見てください。540円のタバコを買うと国に126円、都道府県に20円、市町村に122円が納められ、消費税も含めると税金の合計は334円にもなります。なんとタバコの値段のうち61.8%も税金なのです。

日本たばこ協会の発表では令和元年度の販売代金は2兆8千万円だったそうです。一箱あたりでは国や自治体に納められる金額は100円ちょっとですが、そんなに売れているとなると、その税収は相当な金額になります。

(No. 670) 第9話 税収額と損失額

—税収額と医療費関係の損失額を差し引きするとほぼ同額…

地元でタバコを買うとその税金が市町村の財源になります。例えば和歌山市では年間20億円以上の税収があることはすでに紹介しましたね。では、国全体ではいったいタバコ税の合計はいくらになると思いますか。左図は2018年度の決算額ですが、地方たばこ税、国たばこ税、たばこ特別税を全て合わせると約2兆円にもなります。こんなに高額だと、タバコは経済的に貢献しているように感じてしまいます。

(No. 671) 第10話 タバコ休憩

—大昔はタバコの煙が充満している作業場や事務所はめずらしくない…

皆さん、下のイラストを見てどう思いますか。仕事中に席を離れて喫煙所でタバコを吸っているシーンなのですが、一方で事務所内では仕事を続けている人が見えますよね。ニコチン依存症の喫煙者は毎日何回か、勤務中に職場を離れタバコ休憩をとる事が慣例となっている事業所は多いと思われませんが、タバコを吸わない従業員から見ると、喫煙者のタバコ休憩は不公平だと思えてしまいます。1回の喫煙時間を10分だとして、毎日5回タバコ休憩をとったとすると50分も多く休憩している事になりますからね。

(No. 672) 第11話 タバコ代

—ひと箱500円のタバコ、冷静に考えるとかなりもったいない…

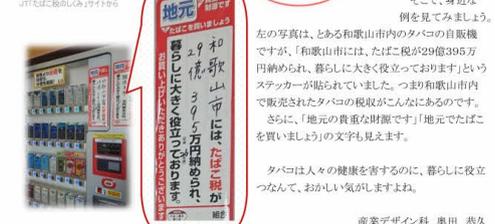
喫煙者はタバコ代にいくら使っているでしょうか。1箱500円だとして単純に計算すると下図のようになります。1日0.5箱でも年間9万円以上、1日1箱では18万円以上もかかります。話は変わりますが、厚生労働省が発表した「平成30年賃金構造基本統計調査（初任給）の概況」によると高卒者の初任給は16万円と記されています。

なんと、毎日1箱のタバコを1年分買うためには1ヶ月以上働かないといけないわけです。1ヶ月間働いた収入がタバコ代のためだけに消えていくなると、どう思いますか。すぐもったないですよ。もっと違うことに使えるはずですよ。

しかも、一旦ニコチン依存症になってしまうと、タバコを買うのは…

Volume 49 週刊 タバコの正体 第8話

日本では、タバコの税収が国や自治体の会計予算に組込まれている事をすでに紹介しましたね。その金額はどのくらいになるのか興味が湧きませんか。



産業デザイン科 奥田 恭久
Zero Tobacco Project In WAKO Since 2005

Volume 49 週刊 タバコの正体 第11話

喫煙者はタバコ代にいくら使っているでしょうか。1箱500円だとして単純に計算すると下図のようになります。1日0.5箱でも年間9万円以上、1日1箱では18万円以上もかかります。



なんと、毎日1箱のタバコを1年分買うためには1ヶ月以上働かないといけないわけです。1ヶ月間働いた収入がタバコ代のためだけに消えていくなると、どう思いますか。すぐもったないですよ。もっと違うことに使えるはずですよ。



産業デザイン科 奥田 恭久
Zero Tobacco Project In WAKO Since 2005
健康保険組合連合会「けんぽん」サイト

毎週火曜日発行



URL: https://www.jascs.jp/truth_of_tabacco/truth_of_tabacco_index.html

※週刊タバコの正体は日本禁煙科学会のHPでご覧下さい。
※一話ごとにpdfファイルで閲覧・ダウンロードが可能です。
※HPへのアクセスには右のQRコードが利用できます。

